第13回危機対応医薬品等に関する小委員会・ 第28回新型インフルエンザ対策に関する小委員会	資料 4
2026（令和8）年11月18日	

感染症危機対応医薬品等（MCM）の確保に向けて

安全保障・国際連携・市民参画の視点から

日本医療政策機構（HGPI）
代表理事　乗竹 亮治

揺らぐ国際秩序と、届きにくくなった公衆衛生の言葉

国家間の合意を前提とした国際保健の仕組みが揺らぎ、公衆衛生そのものへの信頼も揺らいでいる。

いま起きていること

国際秩序の変容

WHO：米国が脱退意向を表明（2026年1月）

国連パンデミック政治宣言：2023年は全会一致 → 2026年は投票採択

資金の縮小

WHO予算：当初案比 約2割縮小

グローバルファンド：前回比 約2割減、10年前の水準に

公衆衛生への反発

米国：幼稚園児のMMR接種率 95% → 92.4%、麻疹は前年の2倍超

日本：子どものワクチンの重要性の認識が3分の1以上低下

パターナリスティックではない言説

方向性

国家は引き続き力。
だからこそ、国家が市民とともに
「国家ではない言説」をつくる
必要性

出典：WHO（2025年5月20日）、Global Fund（2022年11月18日、2026年2月18日）、国連総会（2023年10月5日、2026年10月12日）、CDC SchoolVaxView・麻疹症例データ（2026年10月22日時点）、UNICEF『世界子供白書2023』

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

健康・医療と安全保障の架橋

健康・医療が、安全保障の言葉で語られ始めているなかで、MCMの確保も安全保障の文脈から強力に進めるべき。

日本 所信表明演説「健康医療安全保障」（2025・2026年）、日本成長戦略、MCM戦略（2026年）
米国 国家安全保障戦略「biotech」（2025年）　**英国** 生物安全保障戦略（2023年） など

グローバルヘルス
公平・連帯



つなぐ



安全保障
防御・国益

1 2つの言語

公平・連帯と、
防御・国益の双方から語る

2 2つのナラティブ

Right-aligned narrative、
一人ひとりの暮らしから始まる語り

3 市民参画

安全保障の枠組みは閉じやすい
市民・当事者とともに決める

HGPIの取り組み

国際健康安全保障対話（IHS Dialogue）：国際文化会館（IHJ）× 日本医療政策機構（HGPI）
健康・医療と安全保障のコミュニティを架橋する政策対話
第1回：2026年11月16日（月）開催「バイオセキュリティ」

出典：首相官邸「所信表明演説」（2025年10月24日、2026年10月5日）、内閣官房「日本成長戦略概要」（2026年7月）、MCM戦略（2026年3月24日閣議決定）、The White House（2025年12月）、UK Government（2023年6月）

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

サプライチェーン全体での対応

平時の需要が限られるMCMこそ、平時の備えの維持・継続と出口の予見性を一体的に確保すべき。

研究開発から輸送・接種まで、各段階で必要となる検討の方向性案

研究開発

- 産官学民連携を通じたTPPの策定／裾野の広い研究開発支援の継続
- 創薬ベンチャーエコシステム強化事業のさらなる活用
- 創薬バンク（仮称）の検討

製造

立ち上げ

- 既存事業の着実な継続

維持

- 平時の需要が限られるなかでの設備・人材の維持への支援
- 安定供給を支える薬価上の評価

調達・備蓄

- プル型インセンティブの洗練化（買上げ・備蓄等）
- 同盟国・同志国・戦略的パートナーとの連携による買い手の確保（バイイングパワーの拡張）
- 防衛セクターでの活用や、海外展開（PQやEMLへの掲載）を見据えた計画策定

輸送・接種

- 調達や防衛オペレーションとの連携（自衛隊による輸送・大規模接種の経験）
- 平時の物流の有事対応力

（参考）戦傷では感染や薬剤耐性菌が問題となりやすく、後送・治療の遅れは感染のリスクを高めうる

- 2009年から2012年に、イラク・アフガニスタンから後送された米軍負傷者の34%が初回入院中に感染症に
- 2009年から2012年に、四肢切断を伴う米軍負傷者の47%で創傷感染が確認された
- 2022年に、ウクライナの3病院で院内感染を起こした患者の60%がカルバペネム耐性菌による感染だった

出典：Weintrob et al.（Surg Infect, 2018）、Stewart et al.（Mil Med, 2019）、Kuzin et al.（MMWR, 2023）

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

諸外国にみる国などの関わり①：米国カリフォルニア州

国などの関わり方は多様であるが、ガバナンスのあり方も含めて、
サプライチェーン全体に対して一体的かつ中長期的な支援を設計することが重要。

概要 医薬品の価格高騰や供給をめぐる課題に対応するため、カリフォルニア州政府が民間の事業者と連携して手頃な価格での供給を目指す取り組み （CalRx）が動き始めている

インスリンプログラム

- 州が開発資金の提供者として対応
- **開発に必要な資金の一部**として約5,000万ドル**を提携先の事業者に拠出**し、開発の進捗に応じて段階的に支払う

ナロキソンプログラム

- 州が購入者として対応
- 州では以前から、オピオイド関連訴訟の和解金を原資とする配布プログラムを通じてナロキソンを購入し、州内で無料配布を継続してきた
- CalRxは、この既存の**購買力・価格交渉力を活用**して民間企業と交渉し、より安価な調達を実現

州政府の組織改編

- CalRxの財源は単年度ごとの予算措置で、継続的な予算枠を持つ取り組みではない
- しかし、CalRxの取り組みをカリフォルニア州の保健医療アクセス・情報局に属する医薬品政策・プログラム部門の業務の一部と位置づけた
- それによって、**医薬品市場に関する調査と政策提言機能を維持**し、CalRxを通じた直接的な資金提供以外の方法でも市場の課題に対して介入できる手段を確保

出典：HGPIによる独自調査、海外有識者インタビュー　など

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

諸外国にみる国などの関わり②：韓国

国などの関わり方は多様であるが、ガバナンスのあり方も含めて、
サプライチェーン全体に対して一体的かつ中長期的な支援を設計することが重要。

概要　公共性は高いものの、市場原理だけでは安定供給が困難な医薬品に対し、複数の制度が段階的に整備されている

市場退出防止医薬品制度

- 2000年から開始
- 診療に不可欠でありながら採算性が低く、生産や輸入が忌避されるおそれのある医薬品を**品目**単位で指定
- 原価補填や使用奨励金などを支給することで対応

国家必須医薬品制度

- 2016年から開始
- 保健医療の現場で不可欠でありながら、市場機能のみでは安定供給が困難な医薬品を**成分**単位で指定
- 韓国希少・必須医薬品センターが全国的な備蓄体制の構築を検討
- 2026年に、**国産原料を使用した国家必須医薬品等について、薬価を先発品（あるいは特許満了前の価格）68%まで引き上げる優遇措置を拡充**し、要件を満たせば最大10年継続

官民合同ガバナンス

- 国家必須医薬品制度は食品医薬品安全処内に設置された省庁横断的な協議体（政府10機関参加）が、指定・解除の審議と総合対策の策定・推進を担ってきた
- 2026年11月から同協議会は**関係省庁に加え、製薬関連団体や学会、患者・当事者団体も参画する官民合同ガバナンス**に改編
- 多様な立場から、必須性（Essentiality）、供給不安定性（Supply Instability）、政策的必要性（Policy Support）が審査されるなど、需給が不安定な医薬品への対応の強化が進む見込み

出典：HGPIによる独自調査、海外有識者インタビュー　など

（参考）健康保険審査評価院（HIRA）「必須医薬品の安定供給のための管理体制研究：退場防止医薬品制度を中心に（原題：필수의약품 안 정적 공급을 위한 관리체계 연구 : 퇴장방지의약품제도 중심으로）」（2024）
保健福祉部（保険政策課）「患者の新薬保障性を高め、製薬イノベーションを促進（原題：환자 신약 보장성은 높이고 제약 혁신은 촉진）」（2026年3月26日）

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

市民の立場からみえる論点：治験参加者への支払いと新薬へのアクセス

国際保健の空白が広がる中、日本が国際共同治験に参画し、主導することは、外交・安全保障上の意義も有する。

患者・当事者、市民の立場からみた追加的な論点

治験参加者への支払いの在り方

CHIM（ヒトチャレンジ試験）なども想定したうえで、
治験に対する支払いの在り方を再考する必要がある
また、患者・当事者、市民からの理解が中長期的に必要となる

支払いの3区分（Gelinasら, 2018、 Fernandez Lynchら, 2021）

① 実費補填 ＋ **② 時間・負担への対価** ＋ **③ 参加の動機づけ**

（参考）英国CHIM（2021年）：隔離17日＋追跡12か月で約4,500ポンド

海外で開発された新薬へのアクセス

治験・開発には市場（出口）をつくることが重要となる
また、ドラッグ・ロスの実態把握には、中国で先行承認された品目などのマッピングが中長期的に必要となる

中国の事例（Barwickら, NBER WP, 2026）

国家医療保険償還医薬品リスト（NRDL）の改革 → 革新的医薬品の市場規模が拡大 → **治験数が米国と比べ86%増**

（参考）厚労省調査の対象は欧米で承認された品目
国内開発未着手と確認されたのは28品目（2026年4月公表）

出典：Gelinas et al.（N Engl J Med, 2018）、Fernandez Lynch et al.（Am J Bioeth, 2021）、ITV News（2021年2月17日）、Barwick, Xia & Xia（NBER WP 34977, 2026）、厚生労働省「令和7年度未承認薬等迅速解消促進調査事業」（2026年4月6日公表）

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

MCMの確保に向けた3つの視点

安全保障の文脈で平時から備えを維持・継続し、国際連携を主導し、市民とともに決める

安全保障

平時の備えの維持・継続と出口の予見性を確保する

- 研究開発、製造設備の立ち上げとともに、製造設備の維持に対する支援
- 出口戦略としてのプル型インセンティブの拡充と洗練化
- 同盟国・同志国・戦略的パートナー、防衛セクターとの連携強化
- 国の関わり方の多様化　など

国際連携

国際共同治験などの国際連携を日本が主導する

- CHIM試験なども想定したうえで、治験参加者への支払いの在り方の再考
- 治験環境の改善の一環としての出口戦略の拡充と洗練化
- より現実を反映できるドラッグラグ・ロスの実態把握
- PQやEMLを念頭に置いた研究開発や調達の展開　など

市民参画

安全保障の枠組みを閉じず市民・当事者とともに決める

- CHIM試験などを含む感染症治験特有の難しさに対して、市民からのさらなる理解
- 安全保障や感染症危機、ひいてはMCMの供給に関する優先順位などに関する患者・当事者、市民からのさらなる理解
- 感染症危機対応人材の育成と、感染症危機対応に協力的な市民文化の醸成　など

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

AMRアライアンス・ジャパン：産官学民のプラットフォーム

2016年にグローバル専門家会合を開催し、AMRを政策課題として提起。その後2018年に、HGPIを事務局として
AMRアライアンス・ジャパンを設立。産官学民が集い、対話と政策提言活動を続けてきた。





2018年11月　設立記念グローバル専門家会合

Agenda Setting：課題の可視化	Agenda Shaping：論点形成・提言	Agenda Delivery：政策への実装・見直し
2016年から専門家会合を重ね、 AMRを社会課題として可視化	2018年にアライアンスを設立し、 産官学民の議論を政策提言へ	国内外の関係者とともに、 政策提言の社会実装に向けて活動

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

10年の歩み：政策課題の提起から社会実装まで

課題の可視化、 論点形成・提言、 政策への実装・見直しを産官学民で続けてきた。

Agenda Setting：課題の可視化



2016年4月

CSIS-HGPI 日米専門家会合

「AMRの世界的脅威と日本が果たすべき役割」を議論



2018年11月

AMRアライアンス・ジャパン設立

キックオフ会合中長期的なビジョンを設定し、設立記念グローバル専門家会合を開催

Agenda Shaping：論点形成・提言



2019年

政策提言公表、大臣手交

「AMR対策に向け日本政府が果たすべき役割」を公表、加藤勝信厚生労働大臣（当時）へ手交



2019 年～現在

政策議論の深化

プル型インセンティブ導入や抗菌薬の安定供給、G7に向けた提言などを継続的に発信

Agenda Delivery：政策への実装・見直し



2023年

首相への提言

G7広島サミットに向け、岸田文雄首相（当時）へAMR対策を提言、国会議員勉強会を経年的に開催



2024年～

社会実装の強化、海外連携の拡大

主催として、国連総会AMRハイレベル会合サイドイベントの開催（共催：厚生労働省）など活動を拡大

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

対話の場づくり：専門家・国会・市民をつなぐ

学会や国際会議にとどまらず、国会議員、メディア、自治体、市民へと対話の輪を広げてきた。

専門家・国際



2018年　キックオフ会合



2020年　感染症学会シンポジウム



2023年　特別シンポジウム



2024年　国連総会イベント



2025年　国際政策対話

国会・政策



2018年　議員ブリーフィング



2019年　国会議員向け勉強会



2023年　特別議員勉強会



2023年　朝食会



2026年　産業横断対話

市民・地域・メディア



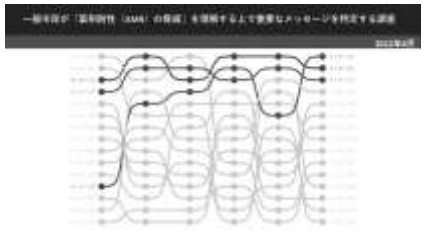
2019年 メディアブリーフィング



2021年　当事者の声の収集



2022年　自治体との協働



2022年8月　市民向け調査



2025年　自治体向け会合

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

プル型インセンティブと安定供給：提言から制度化へ

HGPI Health and Global Policy Institute

国際動向を捉えながら、プル型を軸に安定供給策もあわせて提起し、国内の制度化につなげてきた

	2016–18	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
国際動向	国連AMR会合	G20大阪宣言	AMR基金設立	G7財務相文書	英サブスク型	G7広島・長崎	国連政治宣言		WHA新行動計画
AMR アライアンス・ジャパン／HGPI	・日米専門家会合 ・アライアンス設立	・初の政策提言、厚労大臣へ手交 ・G20緊急フォーラム	・感染症学会でシンポジウム	・安定供給フォーラム ・プル型導入を提言	・経済安保・G7に向け提言	・G7に向け首相へ提言	・国連総会でサイドイベント	・骨太へ原薬確保を提言	・市場インセンティブ拡充を提言
政府の動き ■ プル型 ■ 安定供給・原薬 ■ AMR・MCM	■ AMR対策アクションプラン策定		■ 安定確保策の関係者会議発足	■ ワクチン開発・生産体制強化戦略	■ SCARDA設置 ■ 経済安保法成立、抗菌薬を特定重要物資に指定	■ 原薬国産化方針策定 ■ 新AMR対策アクションプラン策定 ■ 抗菌薬確保支援事業開始	■ 新型インフル等対策政府行動計画改定 ■ CRE治療薬2剤を採択	■ JIHS設立 ■ MCM開発支援方針・戦略の検討 ■ 支援事業の見直し方針	■ SCARDA戦略2.0 ■ 国産化支援にセフトリアキソン追加

研究開発（プル型）と製造・供給（原薬国産化・備蓄）を一体で支える設計を、MCM全体の出口戦略に生かす

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.

MCMの確保に向けた3つの視点　（再掲）

安全保障の文脈で平時から備えを維持・継続し、国際連携を主導し、市民とともに決める

安全保障

平時の備えの維持・継続と出口の予見性を確保する

- 研究開発、製造設備の立ち上げとともに、製造設備の維持に対する支援
- 出口戦略としてのプル型インセンティブの拡充と洗練化
- 同盟国・同志国・戦略的パートナー、防衛セクターとの連携強化
- 国の関わり方の多様化　など

国際連携

国際共同治験などの国際連携を日本が主導する

- CHIM試験なども想定したうえで、治験参加者への支払いの在り方の再考
- 治験環境の改善の一環としての出口戦略の拡充と洗練化
- より現実を反映できるドラッグラグ・ロスの実態把握
- PQやEMLを念頭に置いた研究開発や調達の展開　など

市民参画

安全保障の枠組みを閉じず市民・当事者とともに決める

- CHIM試験などを含む感染症治験特有の難しさに対して、市民からのさらなる理解
- 安全保障や感染症危機、ひいてはMCMの供給に関する優先順位などに関する患者・当事者、市民からのさらなる理解
- 感染症危機対応人材の育成と、感染症危機対応に協力的な市民文化の醸成　など

Copyright © 2026 Health and Global Policy Institute All rights reserved.